



# 椎の木

平成29年10月2日  
朝霞市立朝霞第八小学校  
電話：048-465-8381  
男子543名 女子516名 1059名

【学校教育目標】

かしこく・やさしく・たくましく

## 後半戦のスタートにあたり

校長 鈴木 聡

プール入口近くにイチョウの木があり、既に実（銀杏）が落ちています。銀杏に直接触れると、赤く腫れたり痒みを感じたりするので、子どもたちには注意を呼びかけました。その後、数人の子供から立て続けに声を掛けられました。「校長先生、あれ（銀杏）、おいしんだよね！」その感想に少なからず驚くとともに、ご家庭における食の豊かさを感じました。

さて、朝霞市は3学期制を敷いていますが、学校には運動会で一区切りをつけ、10月から後半戦という捉えをすることがあります。落ち着いて学習に取り組むということなのですが、10月は10月で多くの取り組みが控えています。意識の切り替えを上手に行い、「勉強の秋・読書の秋」に気持ちを持っていくとともに、前期であげた成果は継続し、課題に対しては改善を図っていきます。

◇ 学校行事の中でも一大行事である運動会を終えることができました。本年度は初の5色対抗形式での実施となりました。閉会式でも申し上げた通り、6年生が下級生の指導や運動会準備によく取り組んでくれました。また、体育館の使い方等、昨年度までとは変更したこともありました。運動会の主体となる児童の活動は勿論のこと、児童・ご家族を含め3500名近くの方々が集まる行事の在り方を今後も検討しなければならないという思いを強くしました。

◇ 4月に実施した全国学力・学習状況調査（第6学年：国語、算数）では、国語科においてA問題（知識）、B問題（活用）にわたり、全国及び埼玉県の前年を上回りました。算数科では共に県平均を上回りましたが、全国平均を若干下回りました。また同時期に実施した埼玉県学力・学習状況調査（第4・5・6学年：国語、算数）においては、全ての学年の全ての調査において埼玉県の平均正答率を上回りました。合わせて、第5・6学年の結果は、前年からの伸びも着実に見られるものでした。これらの調査において測定できるのは学力の特定の一部や学校における教育活動の一側面ですが、結果分析をもとに全学年において系統的な重点指導と指導方法の改善に取り組むとともに、校内研修を通して指導力の向上を図り、その成果を児童一人一人の学力向上につなげてまいります。

### ◆『次代に語り継がれるレガシー創出事業』への取り組み◆

本年度、本校は埼玉県教育委員会からの研究校指定を受け、標記事業に取り組んでいます。

この事業は、ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を通じて学びを深められる教育プログラムを開発・普及するため、朝霞市が委託を受け、本校がその取り組みに当たることとなったものです。

現在、計画されている授業の一つに、「ユニバーサル・ラン〈スポーツ義足体験授業〉」があります。この授業は、東京2020公認プログラムとして、株式会社LIXIL主催、株式会社Xiborg（サイボーグ：義足メーカー）運営による教育プログラムです。このプログラムでは、義足体験だけでなくパラリンピアンとの交流も計画されており、子どもたちが、パラリンピアンの講話等から多くのことを学び取る機会となることを期待しています。本校では、10月25日（水）、本校体育館において6年生が取り組むこととなっています。

また、本校独自の取り組みとして、講師派遣等の協力依頼を現在4事業所に行っています。既に東洋大学（朝霞キャンパス）からは陸上競技選手を派遣してくださることで調整を進めています。体育教育の一環としてだけでなく、キャリア教育の一助となるような取り組みとしたいと考えています。

保護者の方々にも参加いただける場合には、その都度、お知らせしてまいります。

